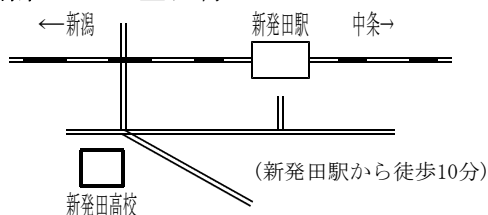




22 新潟県立新発田高等学校

- 所在地 〒957-8555 新発田市豊町3-7-6
[最寄りの交通機関] JR白新線・羽越線新発田駅下車、徒歩10分
- 電話 0254-22-2008
- Fax 0254-26-6307
- Eメール school@shibata-h.nein.ed.jp
- 校長名 中戸 義文
- 創立 明治29年10月21日
- 課程 全日制



【校舎(平成21年竣工)正面】

- 生徒数854名 (令和2年5月1日現在)

学科名	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
普通	108	138	95	146	111	131	314	415
理数	24	18	22	19	30	12	76	49
計	132	156	117	165	141	143	390	464

- 入学者選抜

学科	募集定員	一般選抜	
普通	240	調査書：学力検査 (3:7)	
理数	40	調査書：学力検査 (3:7)	傾斜配点 (数学・理科)



【一体型校舎とスクールモール】

- 学校目標

本校は、社会と連携・協働し、ここに掲げる生き方を身につけた未来の俊傑を育てる。

- (1) 日々創意を新たにして生活の充実向上を図ろう。
- (2) 良識に従う行動によって公民としての責任を果たそう。
- (3) 我が最適の道を選び資質才能を十分に発揮しよう。

- 目指す学校像のコンセプト

「質実剛健にして未来の俊傑をめざす」の校是のもと、生徒・保護者・地域・教職員が一丸となり、自ら学び課題解決に向かう「未来の俊傑」の基盤づくりを実践します！

- 学校の特徴

明治29年創立の本校は、今年で創立124年目を迎える歴史と伝統を誇る学校です。阿賀北地域の人材育成を担う進学校として地域の信頼を集め、卒業生は2万8千名にのぼります。同窓生は新潟県内だけでなく、広く国内外で活躍しています。入学してくる生徒は、将来地域社会や国際社会に貢献できることを目指し、大学進学のために目を向けて勉学に励んでいます。

本校は、文武両道をモットーとし、全校一丸となって学力向上と部活動の振興に努めています。生徒の創意工夫と良識ある行動を重視しながら、個性に応じた進路目標の実現を目指します。

●スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

本校は、平成25年度に文部科学省から5年間のSSH校指定を受け、平成30年度からも、それまでの5年間の取り組みの成果やこれからの計画が評価され、継続して5年間の指定を受けました。大学・研究機関などと密接に連携し、地域の特色を生かした課題研究等、様々な取り組みを理数科・普通科ともに積極的に行っています。

課題研究を柱とした探究型プログラムによって科学的思考力を育成し、課題解決に必要なデータリテラシーを習得します。さらに研究成果を社会に還元すべく表現力や発信力も身につけます。こうした新学習指導要領を先取りした教育プログラムの導入によって、「**科学技術を基盤とした、新領域を創造・開拓する未来のリーダーを育成**」します。

具体的には、特色ある授業をととして理数系分野に必要な課題探究力を高めます。そして、科学技術をととして世界とつながるコミュニケーション力・英語力を育成するため、理数科では1年次の終わりに「関東サイエンス ツアー」、2年秋に「マレーシア海外研修」を実施します。



【マレーシア海外研修】



【つくば研修（JAXA）】

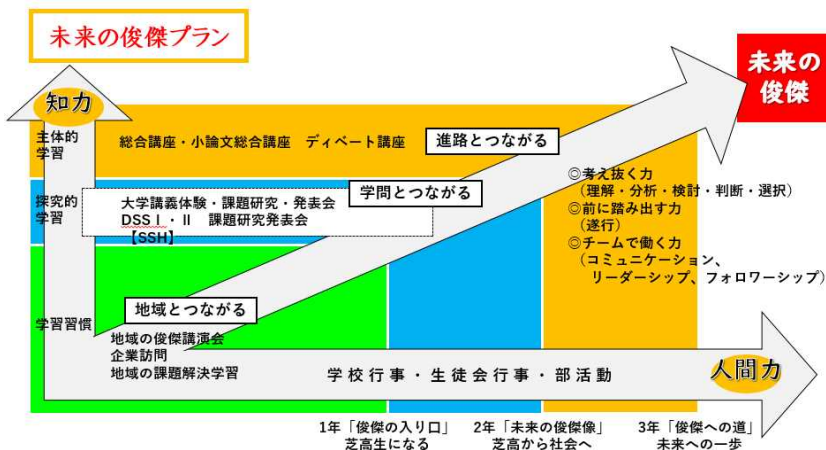


【新発田病院研修】

●キャリア教育「未来の俊傑プラン」

本校校歌に謳われる「未来の俊傑」を育むため、総合的な学習（探究）の時間の進路探究活動として「未来の俊傑プラン」を実施しています。一人ひとりの興味関心・希望進路に応じてグループで課題を設定し、調査・実験・観察などを通して協力しながら研究を進め最終的にまとめを発表し、互いに学び合う活動です。

課題探究型の学習を通して、社会とのかかわりの中で自己の在り方や生き方をとらえなおして「我が最適な道」を選択し、社会に貢献できるよう成長することが目的です。



【芝高課題研究発表会
於：新発田市文化会館】

●学校生活（学科及び教育課程の特色）

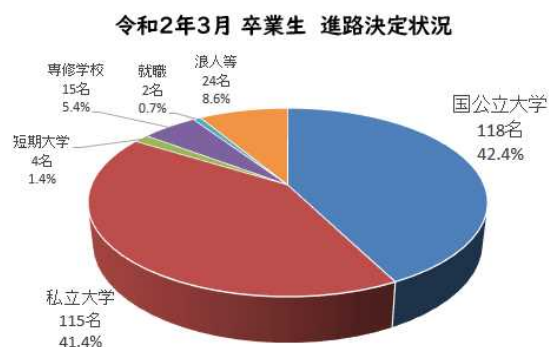
本校には普通科（各学年6クラス）と理数科（各学年1クラス）の2学科があります。それぞれ1クラスの定員は40人です。理数科は、2年次からメディカルコースとフューチャーサイエンスコースに分かれて、探究的な学習を進めていきます。本校では授業を大切にし、基礎・基本の確実な定着を図り、生徒の進路目標が達成できる実力を養成するために、**授業を55分**で行っています。

高校での学習は基本的には中学校の学習の延長線上にあります。しかし、どの教科も学習範囲が広くなり、学習内容も一層深くなります。また、2つの学科には次のような違いや特徴があります。

普通科は、1年生は全員同じ教科・科目を学習し、2年生から「文系」と「理系」に分かれて学習します。教科選択の幅も広く、自分の進路目標に応じて科目を選択して学習します。3年生になると「文系」と「理系」それぞれが進路目標に沿った科目選択を行い、さらに内容の深い学習をします。また総合学習「未来の俊傑プラン」や「Data Science & Study I・II」という授業で、自ら考え問題解決していく課題探究型の学習に取り組みます。

理数科は、数学と理科に重きをおく学科です。数学と理科（物理・化学・生物の3科目必修）の時間数を増やし、実習・観察・実験など、かなり高レベルのものにも取り組みます。将来、医学・歯学・薬学・理学・工学・農学といったいわゆる理数系の分野に進もうという生徒のために、特別のカリキュラムが編成されています。SSH校の指定により、さらに興味深い大学レベルの実験・実習や、課題研究ができるようになりました。SSH設定科目として、「Science Study I・II・III」や「Science Literacy I・II・III」の授業が用意されています。また令和元年度入学生から、医学・医療に貢献する人を育てるメディカルコースが設置されました。なお、入学者選抜では普通科を第2志望とすることができます。

●進路状況（令和2年4月6日現在）



令和2年3月卒業生は、秋田大学医学部医学科を始め、東北大学、北海道大学などの国公立大学に延べ144人が合格し、その内118人が進学しました。また、地元の新潟大学へは53人が進学しました。私立大学入試でも健闘し、大学等進学率は90.6%と高い水準を維持しています。

卒業生総数 278人
センター試験受験者数 268人
 （国公立型受験率 88.0%）

○国公立大学の進学先（118名）（合格者延べ144名）

北海道大、弘前大(2)、東北大(5)、宮城教育大、秋田大(4)、山形大(6)、筑波大、千葉大(2)、東京外大、東京学芸大(2)、上越教育大、長岡技術科学大、新潟大(53)、金沢大(2)、名古屋大、秋田県立大、前橋工科大、高崎経大(2)、東京都立大、横浜市立大(3)、新潟県立看護大、新潟県立大(11)、長岡造形大(4)、都留文科大、など

○私立大学の進学先（115名）（合格者延べ386名）

獨協大、千葉工大(2)、青山学院大、桜美林大、大妻女子大、北里大、國學院大、駒澤大、昭和大、成城大、専修大(10)、大東文化大(3)、玉川大、中央大、津田塾大(3)、東海大(2)、東京農大、東京理大2、東洋大7、日本大4、法政大、武蔵野美大、明治大4、明治学院大2、立教大、早稲田大、神奈川大3、鎌倉女子大、フェリス女子大、敬和学園大、新潟国際情報大、新潟薬大5、新潟工科大、新潟青陵大4、新潟医療福祉大17、新潟食料農業大2、金沢工大、立命館大、など

●部活動の状況 ※次のような部活動が文武両道を掲げて頑張っています。

体育系 陸上競技、野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、テニス、卓球、
 （16）柔道、剣道、バドミントン、登山、ラグビー、サッカー、弓道、空手道、水泳
学芸系 自然科学（生物班・化学班・物理数学班）、演劇、文芸、合唱、書道、美術、写真、
 （9）ブラスバンド、ESS



【剣道部】



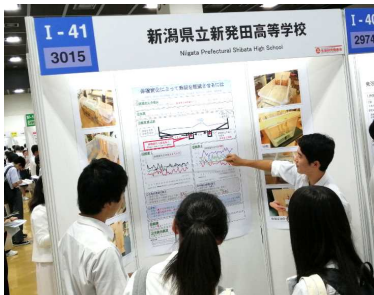
【美術部】



【ブラスバンド部】

●令和元年度の主な実績

- 自然科学部：第11回自然科学系クラブ活動報告・研究発表会 最優秀賞
 書道部：第8回全国書写書道総合大会令和元年度全国硬筆コンクール 教育特別奨励賞
 陸上競技部：令和元年度北信越新人大会女子400m 6位
 野球部：第100回全国高等学校野球選手権記念新潟大会 準優勝
 テニス部：令和元年度全国選抜高校テニス大会北信越予選 男子団体出場
 柔道部：令和元年度北信越高等学校柔道大会 男子個人出場
 令和元年度全国高等学校柔道選手権大会新潟大会 男子個人優勝
 第42回全国高等学校柔道選手権大会 男子個人出場
 登山部：令和元年度北信越高等学校登山大会 出場
 弓道部：令和元年度北信越総体 男子団体戦出場 男子個人戦出場
 水泳部：令和元年度北信越総体 男子100m背泳ぎ 男子200m自由形
 男子800mフリーリレー 女子400m自由形 女子400mフリーリレー
 女子800mフリーリレー 出場



- ◎「体積変化によって津波を軽減させるには」
 SSH生徒研究発表会ポスター発表賞 受賞（文部科学省・JST主催）
 ◎「凝固による水溶液の体積変化は何で決まるのか？」
 第63回日本学生科学賞新潟県大会最優秀賞及び中央予備審査進出（読売新聞）
 ◎第17回高校生科学チャレンジ JSEC2019 出品
 ◎令和元年度全国統計グラフコンクール出品 新潟県において知事賞、奨励賞を受賞
 ◎「植物の緑色光の光受容体を発見～フィトクロム変異体を用いた緑化実験～」新潟大学農学部農学科及び農業・食品産業技術総合研究機構と連携）筑波大学朝永振一郎記念第14回「科学の芽」賞 奨励賞

●主な学校行事



- ←【新入生オリエンテーション】（4月）
 芝高生としての心構えや学習の仕方を学びます。



- ←【遠足】（4月）
 学年ごとに分かれて
 加治川べりまで歩き、バーベキューやカレーなど班ごとに昼食を作ります。



- ←【体育祭】（6月）
 1年から3年まで全クラス対抗で得点を競い合います。大きなバナーやクラス旗・Tシャツの作成なども競いますが、毎年3年生が圧倒的な強さを見せます。

於：五十公野陸上競技場



- ←【応援練習】（4月）
 芝高の伝統行事です。この厳しさを経験して真の芝高生になります。



- 【杉原祭】（9月）→
 本校の文化祭は芝高が立地する昔の地名にちなみ「杉原祭」（すぎわらさい）と呼ばれます。文化系クラブの発表の場であり、また各クラスが企画・立案を競う場でもあります。

●在校生からのメッセージ

新発田高校では勉強と部活の両立に全力で取り組むことができます。高校の学習は内容が難しくなり、予習や復習が必要です。部活に入ると時間が足りない、と心配な人もいるかもしれませんが、でも大丈夫です。休み時間や何かの待ち時間などのすきま時間に勉強したり、授業に集中して取り組んだりすることで十分力が付きます。また、部活動を通して集中力や忍耐力が鍛えられ、学習面にも良い影響を与えてくれます。さらに、何事にも一生懸命取り組む生徒が多く、互いに高め合いながら、毎日楽しい学校生活を送っています。皆さんも、新発田高校で充実した高校生活を送ってみませんか？
(普通科女子)

●学校納付金 学校納付金については、次のものがあります。(令和2年度1年生実績額)

- (1) 入学料 5,650円(入学時)
- (2) 授業料(全日制) 9,900円(月額)

※所得制限により就学支援金が支給されない世帯については、上記の授業料を納めていただきます。

なお、就学支援金支給の手続きについては、別途お知らせいたします。

- (3) 学年費 95,000円 (年額:副教材・模試・日本スポーツ振興センター会費他)
- (4) 修学旅行積立金 90,000円 (年額:1年次分)
- (5) 生徒会費 10,000円 (年額:うち入会金1,000円)
- (6) 後援会費 9,000円 (年額:入会金1,000円、会費6,000円、学力向上対策費1,000円、ロッカー維持費1,000円)
- (7) 奨学会費 6,000円 (3ヶ年分)

※この他に、入学時に制服(男子:標準型学生服、女子:約38,000円)、体操着(約18,350円)、指定シューズ(内履き5,000円、外履き4,180円)教科書(普通科約8,300円、理数科約12,000円)、などが必要になります。